

校報

第七十八號

昭和三年五月十九日

東京女子高等師範學校

叙任及辭令

東京女子高等師範學校訓導 吉田 弘

兼任東京女子高等師範學校教諭

叙高等官七等(五月内閣)

内規ニ關スル件

聽講生受業内規ヲ左ノ通定ム(四月三十日)

聽講生受業内規

第一條 聽講生ハ其ノ學科ノ學科目中一科目又ハ數科目ノ受業ヲ缺クコトヲ得但其ノ學科ノ主要科目ニシテ學校長ニ於テ履修ヲ要スヘク認メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條 前條ニ依リ受業ヲ缺カムトスル者ハ各學期ノ始ニ於テ所定ノ様式ニ依リ(附錄參照)願出テ許可ヲ受クヘシ

第三條 一箇年以上ノ課程ヲ卒ヘタル者ニ對シテハ其ノ學業ノ成績ニ依リ其ノ學科目中一科目又ハ數科目

ノ受業ヲ免スルコトアルヘシ但其ノ學科ノ主要科目ニシテ學校長ニ於テ履修ヲ要スヘク認メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條 聽講生ニシテ受業ヲ免セラレタル科目ノ教授ニ出席セムトスル者アルトキハ時宜ニ由リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第五條 第一條ニ依リ受業ヲ缺キ第三條ニ依リ受業ヲ免セラレタル者ノ修了及畢業ハ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ認定ス

(附錄)

缺科願
私儀第何學年第何學期以降左記科目ノ受業ヲ缺除致
度候間御許可相成度事由ヲ具シ此段御願申上候也

年 月 日
何科第何學年聽講生

何 某

東京女子高等師範學校長何某殿

記

一、受業ヲ缺カムトスル科目

一、右科目ノ受業ヲ缺カムトスル事由

遠足修學旅行及見學ニ關スル事項ヲ左ノ通定ム(五月四日)

遠足修學旅行及見學ニ關スル事項

一、遠足

(一) 毎年五月初旬ニ於テ一回全學科生徒ノ遠足ヲ行フ
前項ノ遠足ハ一日程トシ其ノ地方ハ其ノ都度之ヲ定ム

二、修學旅行

(一) 毎年五月中旬頃ニ於テ文科、理科、並ニ家事科第二學年第四學年及理科第三學年生徒ノ修學旅行ヲ行フ

前項ノ修學旅行ハ左ノ通之ヲ定ム

文科第二學年

二泊三日 神奈川縣下箱根及靜岡縣下熱海地方

理科第二學年

二泊三日 神奈川縣下箱根地方

家事科第二學年

二泊三日 神奈川縣下三崎地方

理科第三學年

一泊二日 埼玉縣下秩父地方(但昭和五年度ヨ)

リ實施)

文科第四學年

七泊八日 京都、大阪、奈良及三重ノ二府二縣下

理科第四學年(第一班第二班)

七泊八日 神奈川縣下三崎地方

六泊七日 新潟、茨城、栃木、宮城、福島ノ五縣下

家事科第四學年

六泊七日 京都、大阪、兵庫、奈良及三重ノ二府三縣下

六泊以上ニ亘ル修學旅行ノ往路又ハ復路ノ一ニ於テハ豫定ノ前日又ハ末日ノ夜間ノ列車ヲ利用スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル宿泊及日ハ之ヲ前項ノ宿泊數日數ニ算入セス

(二) 毎年七月第一學期末ニ於テ理科第三學年生徒ノ修學旅行ヲ行フ
前項ノ修學旅行ハ四泊五日トシ日光地方ニ之ヲ行フ

(三) 毎年十月中旬頃ニ於テ文科、理科、家事科、第三學年生徒ノ修學旅行ヲ行フ
前項ノ修學旅行ハ左ノ通之ヲ定ム

文科第三學年

三泊四日 朽木縣下日光及埼玉縣下秩父地方
理科第三學年

四泊五日 神奈川縣下三崎地方

家事科第三學年

二泊三日 朽木縣下日光地方

三、見學

(一) 正課ノ一部トシテ見學ヲ行フハ學術的價值アルモ

ノニシテ團體的ニ行フカタメニ利便ヲ得且指導監

督ヲ要スルモノニ限ル

前項ノ見學ハ成ルヘク之カタメニ設ケタル半休日

ニ於テ之ヲ行フモノトス

(二) 見學ヲ行フヘキ場所ハ之ヲ豫定シ每學年ノ始ニ於

テ各學年各學期ノ適當ナル時期ニ配當ス

前項ノ豫定場所外ニ見學ヲナサムトスルトキハ教

務課幹事ヲ經テ豫メ學校長ノ承認ヲ受クヘシ

●生徒ニ關スル件

保育實習科 原 田 芳 江

願ニ依リ退學ヲ許可ス(四月三十日)

家事科第二學年 三 浦 な つ

規則第三十五條第一號ニ依リ退學ヲ命ス(五月十三日)

彙 報

職員住所異動

市外戸塚町下戸塚四九三へ

助教諭 黒 岩 矩

小石川區竹早町六八へ 講 師 岩 橋 遵 成